

AGCディスプレイグラス米沢で働く全ての人が、
健康で明るく元気に働けるよう、健康経営に注力しています。
健康経営は私たちの企業理念の一つである「躍動」を実現するための
非常に重要な取り組みです。
活気のある会社にするためには、会社で働く全ての人が、
若々しく、元気で、心身ともに健康である事が必要だからです。

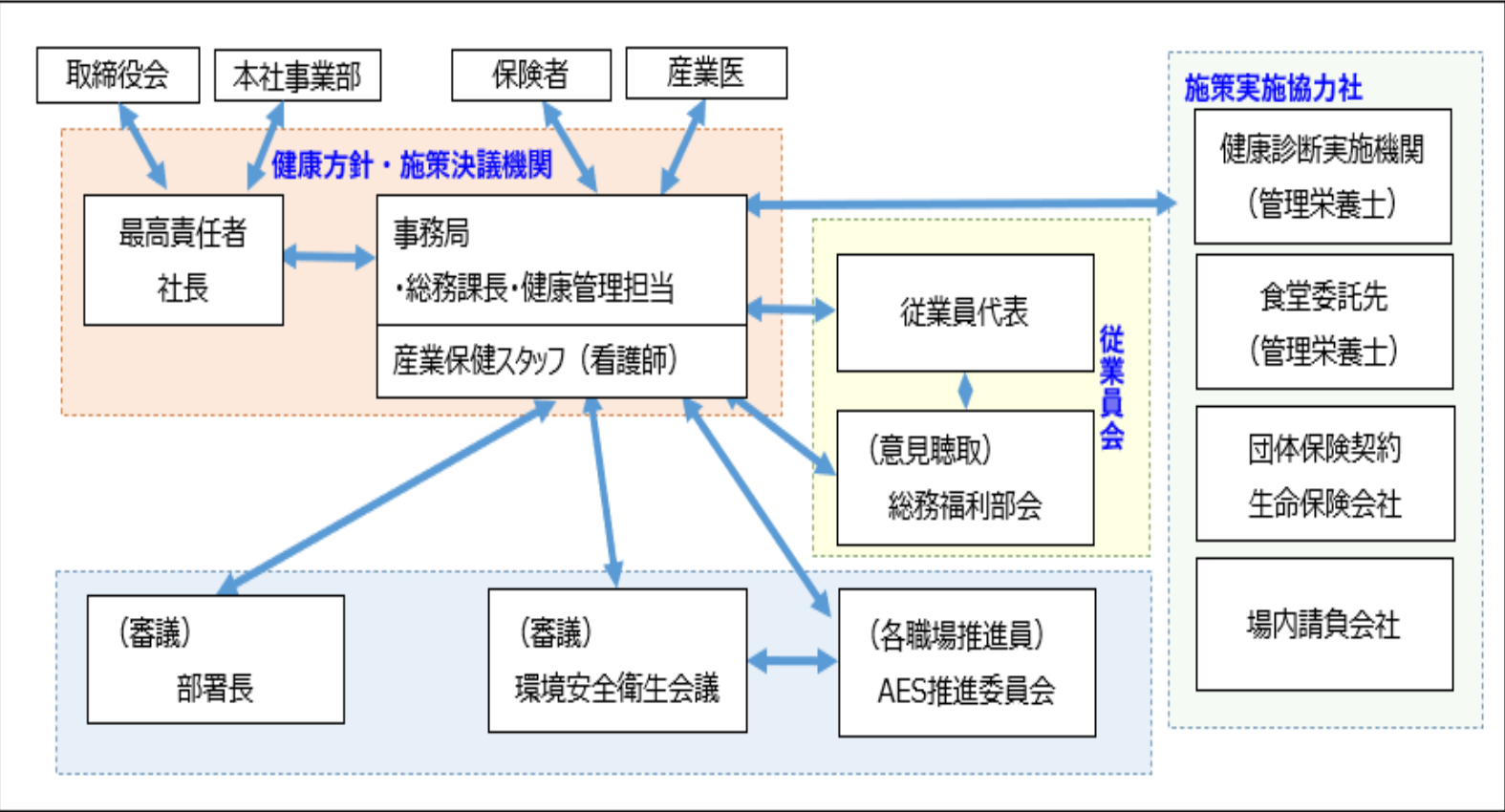
AGCディスプレイグラス米沢株式会社
代表取締役社長 松下 健一



代表取締役社長を最高責任者、総務課長を推進事務局長とした体制のもと、総務課、産業保健スタッフ、産業医と社内の各部署組織および従業員組織が連携し、社内横断的な組織体制を構築しています。

また健康保険組合（保険者）や食堂委託先・管理栄養士および取引先のご支援を受けながら、さらなる健康増進を目指しています。

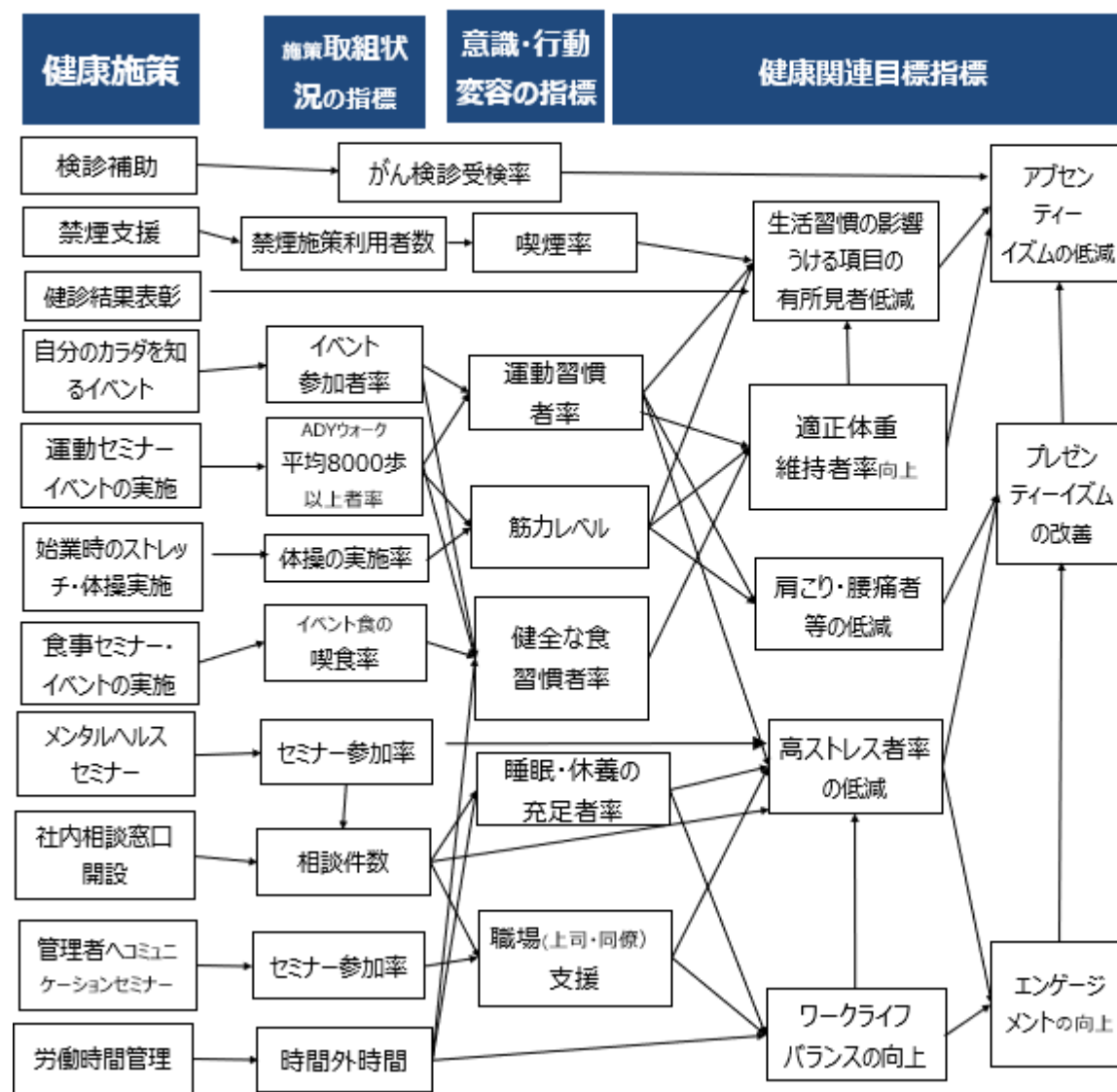
健康経営推進体制



従業員がやりがいを持ち明るく元気に働ける職場づくりを目指し健康課題解決につながる健康施策を進めながら、施策の効果や各指標の変化など健康投資効果を定期的に確認し、次の計画につなげるPDCAサイクルで活動の実践をしています。

健康経営KGIとして、2つの指標について2030年の達成目標を掲げ取り組んでいます。

- ・高ストレス者率の低減 10%以下
- ・プレゼンティーズムの改善 80%以上者を8割以上



目標2030年
健康経営の
目標/解決した
い経営課題

年齢を重ねても活躍できる職場を実現する
心身の不調による離職を防止し

健康経営の
推進方針

従業員がやりがいを持ち明るく元気に働ける職場づくり

KGI

高ストレス者率の低減

プレゼンティーズムの改善

ウェルビーイングの向上

企業価値の向上

健康経営の進捗と新たな取り組みについて

弊社は健康経営を通じ、従業員がやりがいを持ち明るく元気に働ける、年齢を重ねても活躍できる、そんな職場づくりを目指しています。

健康経営を始めた当初、従業員のおおよそ2人に1人が血中脂質の有所見者、喫煙率は男性45.7%、女性20.7%と生活習慣病のリスクが高く、がん検診受診率も低い状態でした。これらの改善に向けた取り組みを開始し、セミナーや食堂施策により、社員の意識・行動に変化がみえてきました。

取り組みの結果、血中脂質の有所見率は減少傾向で39.6%に改善、がん検診は、40歳以上は2年に1回必須とし、胃カメラ補助を実施したことにより大きく受検率が向上しました。(57.3%→72.2%)

その後、血圧の有所見者が増加してきましたが、社員の意識・行動変容をまずは目標指標にすることで、最終的に健康診断結果が改善される事を目指し、2024年から、運動習慣者率の向上（2026年目標28%）、喫煙者の削減（2026年目標25.2%）、高ストレス者率の削減（2026年目標10%以下）を重点指標として、健康課題の良化に向けて取り組んでいます。



健康課題改善に向けた取り組み

- 1) 運動習慣者率向上
- 2) 喫煙者の削減
- 3) 高ストレス者の削減
- 4) その他

1) 運動習慣者率の向上

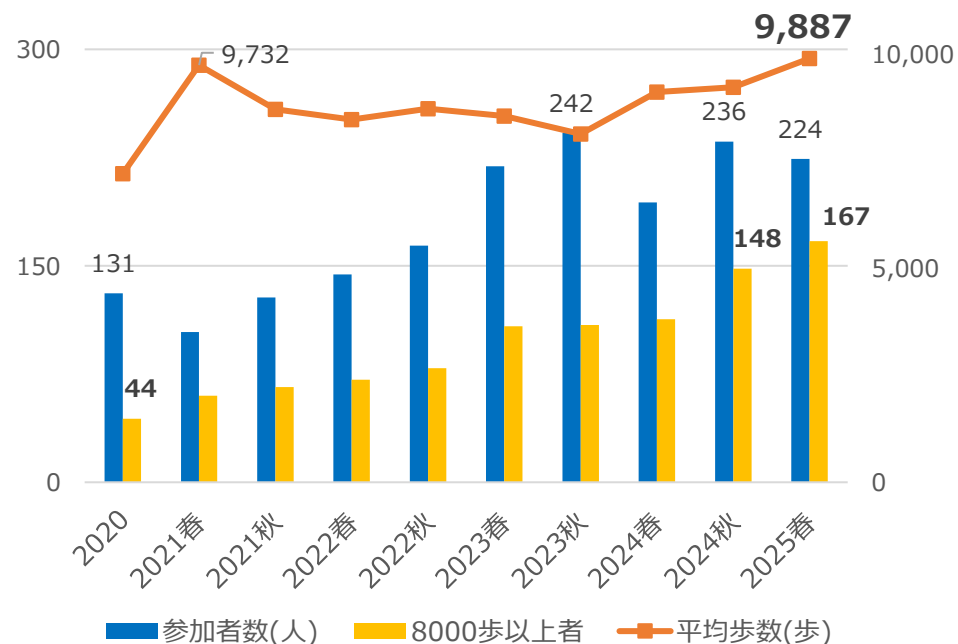
(運動支援 投資累計額: 273万円)

健康経営開始当初より健康診断の有所見者削減を目指し、食事と運動の支援に取り組んでいましたが、2024年から重点指標を意識・行動変容の度合いを示す、[運動習慣者率の向上]に変更しました。

弊社では、運動習慣者率が20 %前半を推移しており、2026年28%まで引き上げる事を目標にしています。

運動習慣の向上を支援することで血中脂質・血圧有所見者、さらにプレゼンティーイズム（勤務中に体調不良や疲労を感じる事）の要因の一つである肩こり・腰痛など体の不具合を改善し、従業員の健康と生産性の向上を目指しています。

ADYウォーク状況（参加者、8000歩/日以上者数、平均歩数）



毎年開催しているウォーキングイベントでは、2024年から運動量を意識した、「1日8000歩」を推奨した結果、2025年は、参加者の中で、1日8000歩以上者率が74.6%と過去最高となりました。

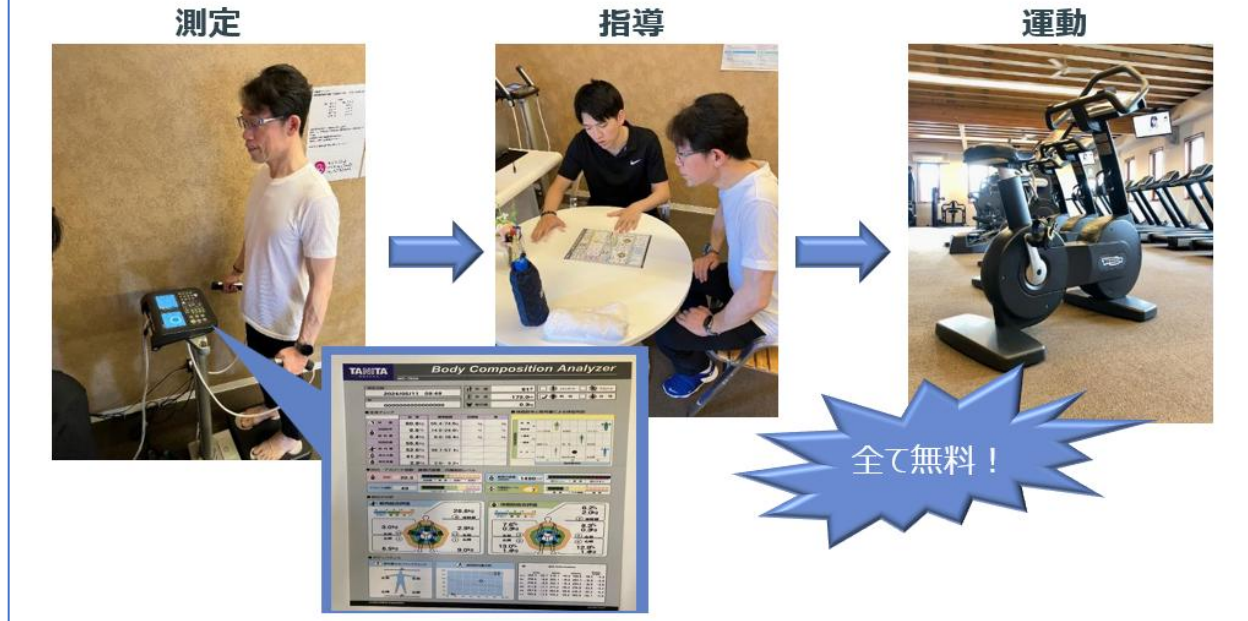
2023年以降、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」に認定されています。2024年以降は、従業員の週1回以上のスポーツ実施率70%以上の企業として、3年連続「+」認定となっています。



1) 運動習慣者率の向上

2024年より、[運動の習慣化]を目指すため、近隣のスポーツクラブの利用券を希望者に無料で配布、体組成計分析（InBody測定）を行い、トレーナーの指導を受け、運動する場を提供しています。

- 自分の体を知り、運動習慣を身に付けてもらうためのきっかけ作り。



社長が自ら体験し利用促進



2024年 GroupFIGHTの様子

2023年、2024年に開催したGroupFIGHTは、参加者の満足度は5点満点中4.6点と高く、また参加者の4割が普段運動していない人となり、運動習慣のきっかけになりました。2024年はご家族にもご参加していただきました。他にもヨガなど定期的を開催しています。

運動習慣者率は毎年増加しており、2025年は27.3%まで向上しました。当社が加入している健康保険組合の2024年版「健康スコアリングレポート」によると、他社と同様の水準でした。

2) 喫煙者の削減

弊社では、健康経営開始当初より喫煙者率が36.4%と他社に比べとても高く、2026年喫煙者率25.2%に向けてに取り組み続けております。

当初、6カ所あった喫煙所を3カ所に集約し、タバコの害のポスターや従業員の禁煙成功談のグラレコ等を掲示し禁煙への啓発活動を継続して行っています。

2025年の喫煙率は33.10%となり、少しずつ削減できています。当社が加入している健康保険組合の2024年版「健康スコアリングレポート」の他社比較でみると平均より多い状態で、まだまだ取り組みが必要です。

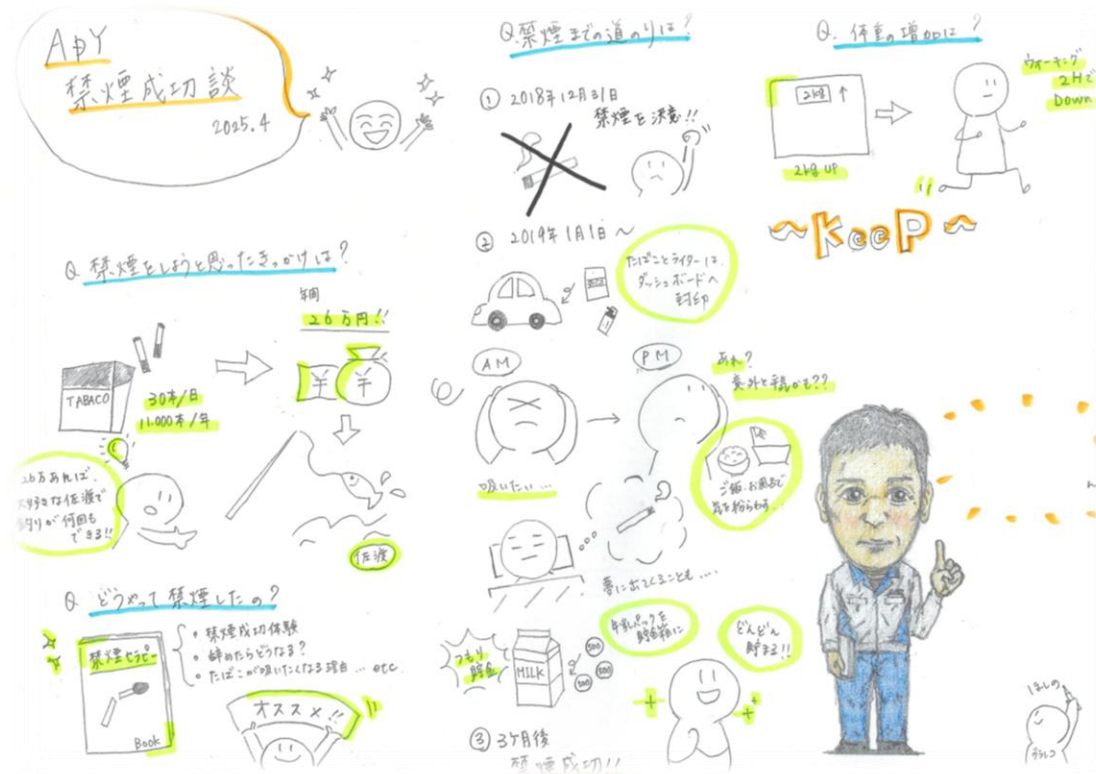
2023年には非喫煙者と禁煙したい人がペアになり禁煙達成できた人を表彰する「ペア禁煙」を、2024年には禁煙治療費の補助を、さらに2025年6月からは、所定時間内の禁煙を開始しました。

■その他の取り組み

- ・スワンデー（毎月22日）に啓蒙メール
- ・世界禁煙デー（5/31）に
喫煙所前の立哨とタブレット菓子の配布
- ・依存症セミナー（タバコとアルコールについて実施）
- ・心身依存への対応アプリの導入
- ・禁煙の予習ができる「本」の貸し出し



世界禁煙デー 喫煙所前の立哨とタブレット菓子配布



従業員の禁煙成功談をグラレコしたポスター：喫煙所に掲示

3) 高ストレス者の削減

高いストレスレベルは、心身にさまざまな悪影響を及ぼす可能性があり、プレゼンティーズムに大きな影響を与えていることが調査結果からみえてきた為、2023年より高ストレス者の削減を重点指標の1つ、健康経営のKGIとしました。

メンタルヘルス対策の第一歩となる、従業員本人がストレスに気づき、対処する「セルフケア」、管理者が部下に対して行う「ラインケア」について、定期的に研修を開催しています。2024年ストレスチェック結果から、ストレスの傾向が年代別に異なることがみえてきた為、2025年は「セルフケア」研修を年代別に開催しています。一方で外部相談窓口を開設してから15年経過していますが、件数は2%未満と低い利用率でした。まずは、相談してもらう事を目的に2025年は社内相談窓口として看護師の常駐を開始し、環境変化の大きい入社・3ヶ月・6ヶ月・1年後のタイミングで、看護師と面談の場を作っています。在職中の社員にむけた健康診断後の食生活改善指導などを通じ、社員や人材派遣社員からの相談件数が増えています。

その他の取り組みとしては、下の通りです。

■ セルフケアの取り組み

- ・ストレスチェック受検率の向上
- ・セルフ（疲労度）チェックリスト、外部相談窓口のメルマガ配信
- ・セミナー開催（2021年：理解度9割、2023年マインドフルネス、2024年レジリエンス研修：受講率91%、理解度89%）

■ ラインケアの取り組み

- ・セミナー開催（2021年実開催、2022年以降、eラーニング）
- ・ストレスチェック80項目へ変更（2023年より）

■ ストレスチェック結果推移

*ストレスチェック委託会社の製造業の結果（17.8%）に比べ良好な状態ですが、当社としては10%以内を目標に取り組み続けます。

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
ストレスチェック受検率	84.4%	84.3%	95.0%	98.4%	97.6%
高ストレス者率	11.9%	13.4%	12.9%	13.1%	集計中

4) その他

(投資累計額1420万円)

2020年から継続的に社内の食堂委託先と連携し、弊社の健康課題（血中脂質・血圧）へ、食での支援に取り組んでいます。

1食で野菜140g以上となるウェルネスランチ、無料の温野菜小鉢、減塩メニューの提供をしています。無料温野菜小鉢の喫食率は80%を超えており好評です。

2024年から[鉄分・カルシウム・食物繊維]が基準以上の小鉢にそれぞれの表示をつけ、食堂に、社員の食育の場としての役割も追加しています。

また社員食堂を利用する場内請負会社とそれぞれの会社の健康課題を共有し、共同で施策検討などを行っています。

さらに地元栄養大学の教授や栄養士会、市役所と連携し、食事と健康に関するセミナーや保健指導を開催をしています。

■その他の取り組み

- ・831野菜の日（日本人の野菜摂取目標に対する不足量70gのサラダ無料提供）
- ・減塩キャンペーン（1ヶ月間、ラーメンスープ減量、減塩味噌・ドレッシング設置など）



ヘルスリテラシー向上への取り組み

- 1) 7つの健康アクション
- 2) その他の取り組み

1) 7つの健康アクション

2021年に（健康意識）動機付け研修を全従業員に実施し、弊社の生活習慣改善に向けた『7つの健康アクション』の周知を行うとともに、各人が取り組めるアクションを選択し、一人一人が生活習慣改善に目を向け、行動する宣言を行いました。

『7つの健康アクション』は、入社教育や健康診断受診票の封筒に印刷するなど、継続して幅広く周知を行っています。

当社では、毎年年初に「安全・品質の誓い」としてそれぞれに関連する行動を記載し、各自のロッカーへの掲示を行っていますが、2025年より「健康の誓い」を加え、健康へ向けた行動宣言による健康行動の習慣化を目指しています。



2) その他の取り組み

従業員が自分のカラダの状態を知り、良い習慣を身につける事を目指し、様々な取り組みをしています。

■ 保健指導（投資額累計：28万円）

全従業員を対象に2022年より、健康診断時に管理栄養士によるワンポイント保健指導を開始しています。

前年の健康診断結果と食習慣の振り返り・生活習慣改善のアドバイスを通じ健康意識向上を目指しています。

さらに2024年より、健康診断後に結果を改善したい希望者に対し食事指導も開始しています。

■ カラダ測定会

2020年より生命保険会社様のご支援により年に数回、血管年齢やベジチェック（野菜摂取量）やAGE（糖化度）、InBody（体組成）測定等を実施しています。全従業員が利用する食堂脇で行っており、場内請負会社員を含め多くの方にご参加いただいています。

健康意識の高まりから、2025年は前年に比べ参加者が約2倍に増加しています。



カラダ測定会

■ 女性の健康問題

・女性社員向け：毎年健康問題セミナー（2025年参加率：94.7%）

2021年は保健師との対話会（参加率：92%）

・管理職向け：セミナー（2025年参加率：97%）

■ 健保による健康診断結果のアプリ説明会を実施

保険者の提供している健康診断結果の閲覧及びバイタルとの連携が出来るアプリです。



ウェルビーイング向上への取り組み

- 1) ワークエンゲージメント向上への取り組み
- 2) 組織活性化への取り組み

1) ワークエンゲージメント向上への取り組み

弊社では、エンゲージメントは「社員の取り組み意欲」と「従業員の活かす環境」と捉え、定期的にその状態を把握し、エンゲージメント向上に向けた取り組みを継続して行っています。職場改善では、各職場の状況に合わせて柔軟に実施するスモールミーティングで、職場の「強み」・「改善課題」を特定し、アクションプラン（目標イメージ）を策定しています。また、安心できる・お互いを尊重し信頼し合える職場づくりのため、管理者向けのセミナー・L.E.T.研修（コミュニケーション能力向上研修）を開催しており、参加率は100%です。

◆ワークエンゲージメント調査結果

回答対象者	質問項目	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
総合職以上	1) 仕事のやりがい	-	90%	92%	85%	87%	73%	74%
	2) 働きやすさ	-	-	51%	48%	52%	66%	57%
	回答者数	-	92	89	103	93	107	107
	回答率	-	100%	100%	100%	100%	100%	100%
全社員	3) 取り組み意欲	53%	-	-	49%	57%	63%	集計中
	4) 社員を活かす環境	52%	-	-	52%	62%	61%	
	回答者数		-	-	404	213	192	
	回答率		-	-	92%	91%	93%	

(測定方法)

- 1) 2) 自社独自のヒアリングシート
3) 4) 2019年、2022年 コーン・フェリー社 エンゲージメント調査
2023年 クアルトリクス社 パルスサーベイ
2024年 コーン・フェリー社とクアルトリクス社

(算出方法)

- 1) の2023年まで：4段階の選択肢での肯定的(とてもある、ある)回答の割合
1) の2024年：5段階の選択肢での肯定的(とてもある、ある)回答の割合
2) 3) 4) ：5段階の選択肢での肯定的(とてもある、ある)回答の割合

2) 組織活性化の取り組み

操業以来、職場または全社での懇親行事を従業員会と会社の相互企画・運営で開催してきました。

新型コロナウイルス感染拡大により2020年以降は開催を中止していましたが、2023年5月に第5類への引き下げにより、約3年ぶりに懇親行事としてビアガーデンを無料開催し、部署をまたいだコミュニケーションの場となりました。以降、毎年ビアパーティーなどを開催しています。例年、参加率は50%後半で社員から好評です。IE手法を取り入れながら楽しくモノづくりを実践し、コミュニケーション向上と発想の幅を広げ、今後の改善活動へ活かすことを目的に2017年より「なせばコンテスト」を開催しています。少人数でチームを組み、業務とは異なる共通課題をクリアし順位を競うコンテストで、コロナ禍は3密を避け継続しました。10回記念大会となった2025年の参加は、67チーム274名と大盛況でした。予選を勝ち抜いた8チームでの決勝戦は、Teams配信を行い従業員間のコミュニケーション良化のきっかけとなりました。



2025年 ビアパーティー

2025年なせばコンテスト募集

使うモノ (1回あたり)

- ①新聞紙1枚 ※日本経済新聞
- ②セロハンテープ ※20cm支給



決勝戦：参加チームメンバー



健康関連データ

- 1) 健康診断・指導状況
- 2) 高リスク者管理項目
- 3) ヘルスリテラシー状況
- 4) プレゼンティーズム

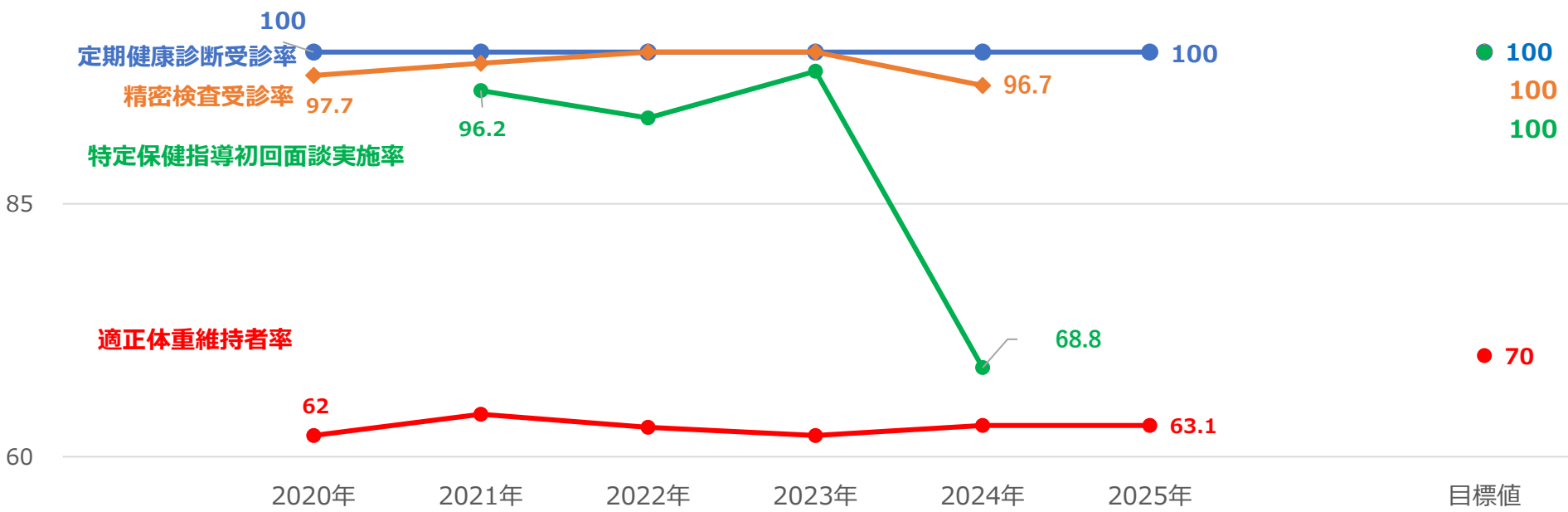
1) 健康診断・指導状況

健康診断は毎年100%の受診率及び精密検査受診率100%を目標に実施しています。

生活習慣病はいずれも体重管理が最大のポイントあることから、適正体重の維持率を注視しており、特定保健指導で生活習慣改善の働きかけを行っていますが、2024年に特定保健指導の実施率が大幅に低下した為、2025年は実施フォロー体制を検討しています。

精密検査受診率は高い水準を維持できており、近隣他社に、このノウハウと社員に配布する精密検査受診案内文書を提供し、地域の健康経営支援へも貢献しています。

◆社員の健康づくり推進状況



2) 高リスク者管理項目

高リスク者への支援として、血糖値判定「要医療」者以上への産業医面談を実施しています。

(実施率：2021年66.7%、2022年83.3%、2023年100%、2024年100%、2025年 100%)

また、特定の検査値が全て異常値の方には、『労災二次健康診断の給付制度』を案内することで、早めの受診につなげています。

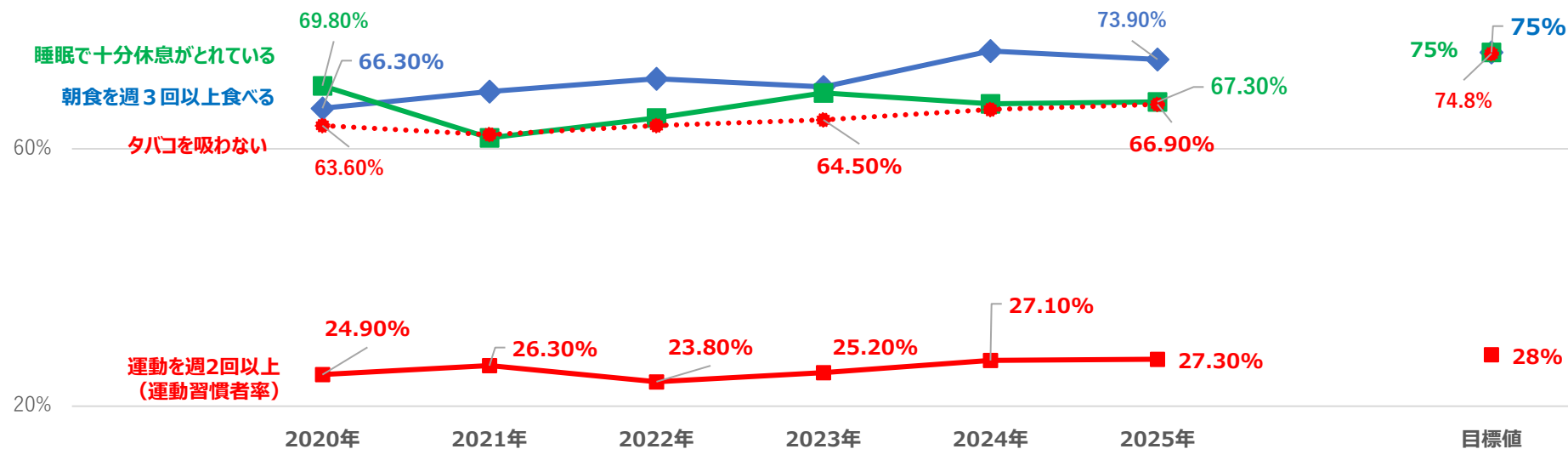
◆高リスク者管理状況

高リスク者管理状況	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
高血圧率	18.3%	18.8%	18.9%	20.2%	20.7%	20.5%
高血圧者のうちコントロール率	56.2%	45.3%	40.7%	38.4%	46.2%	84.6%
血圧未治療比率	6.8%	12.0%	9.9%	10.5%	15.4%	5.5%
血糖リスク率	0.5%	0.3%	1.2%	0.5%	0.7%	0.5%

3) ヘルスリテラシー状況

2021年に健康意識アンケートを実施し分析した結果、「健康への願望があり行動・取り組みをしても望んだ結果に至っていない」ことが判明しました。健康診断結果の分析から、有所見者率が高くなるのは40歳以上の傾向が分かり、有所見が出る前の35歳以上に絞り早くから意識改革を促す為に、2022年に生活習慣病の行動変容セミナーを35歳以上の方を対象に行いました。また、栄養セミナーや熱中症教育からも朝食（仕事前の食事）の重要性を社内で伝え続けており、少しずつですが良い生活習慣者が増えてきています。一方で、睡眠で十分休息がとれている人の割合が少し悪化しており、今後の課題です。

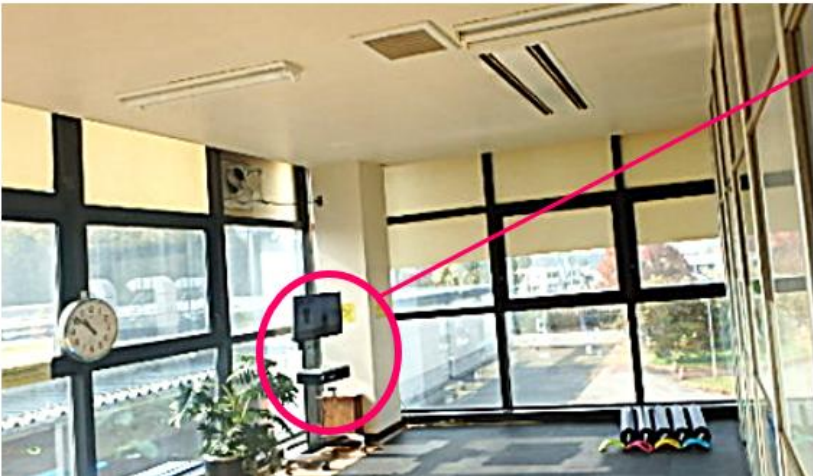
◆社員の良い生活習慣の状況



4) プレゼンティーイズム

2022年より東大 1 項目によるプレゼンティーイズム調査を開始しましたが回答率が低く、実態把握が不十分でした。

2023年は回答率の向上を目指し、ストレスチェックに併せて調査し 9 割を超える回答率となり、その結果ストレスや肩こり・腰痛等の症状でプレゼンティーイズムが悪い状況が見えてきました。2024年は前年の結果から、ストレス対策として全従業員にしなやかに回復する力をつけてもらう為に「レジリエンス研修」を、肩こり・腰痛等の改善として、自分で血行を促す為の「ウェーブリング・ストレッチポール」の使い方セミナーを開催すると共に、社内にメンテナンスルームを設置、従業員がいつでも自分で体のメンテナンスができる環境を整えました。また希望者へ社内で整体師による施術を実施しました。参加者の施術評価は、5 点満点中4.76点と高評価でした。



「ストレッチポールとウェーブリングの使い方、背中のほぐし」の動画を投影

社内のメンテナンスルーム。ストレッチポールやウェーブリングを常設



整体師によるマッサージ

	2022年	2023年	2024年	2025年
プレゼンティーイズム	85.3%	77.0%	82.7%	集計中
回答率	45.5%	92.9%	95.4%	集計中
回答者数	291人	542人	586人	集計中
80%以上者の割合	77.0%	59.6%	75.1%	

東大1項目版設問：病気やけががない時に発揮できる仕事の出来を100%として過去 4 週間の自身の仕事を評価してください (%)